

～防災知っ手帖～

発行：郷地東町連合自治会 会長 志村和亮
防災部 鈴木祥平 初谷 晃

2022年2月に「昭島市防災ガイドブック」が市内全戸に配布されました。様々な災害に対応して、皆さんの命や財産を守るために必要なことが記載されています。

邪魔だと思ってしまい込んでいませんか。

それはダメです。

いつも目に触れるところに置いて家族みんなが繰り返し読むようにしてください。



（ブロック塀の安全点検）

ブロック塀の所有者が点検することができるよう日本建築防災協会ではチェックポイント等を分かりやすく記載したチラシを公開しています。その内容のポイントを紹介します。

「日本建築防災協会」で検索し、「防災支援ポータルサイト」⇒「ブロック塀等の安全性確保に向けた啓発チラシの公開について」⇒「所有者向けチラシ」でチラシ(pdf)を見ることができます。または下記のQRコードかURLでも。

https://www.kenchiku-bosai.or.jp/files/2019/01/block_flyer.pdf

耐震について考えましょう＜耐震基準＞

さて防災知っ手帖では、これまで地震に対する様々な準備段階、いざと言う時の為の事前準備、万一発生した場合の取るべき行動、その他関連知識について情報提供や皆さん一人ひとりが行動を起こすべきことがらを呼びかけてきました。

今回の防災知っ手帖では、それらの中で特に「耐震」について改めて考えて頂きたいと思います。

（家屋の耐震）

1981年(昭和56年)5月31日以前に着工した建物は「旧耐震基準」で作られており大地震に対する安全性が特に低いとされています。また、それ以降に増改築した場合などでは耐震性が低下している可能性もあります。該当する方は、まずは耐震診断を受けて下さい。耐震診断を受けるとその結果に従って耐震化の為の改修についての助言が得られます。

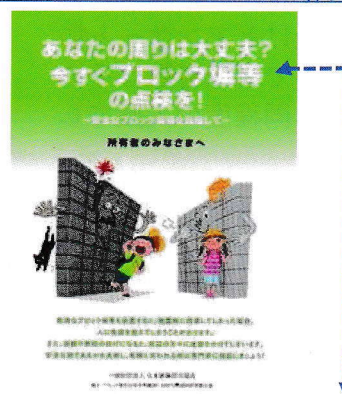


（ブロック塀の耐震）

過去発生した大地震では多くのブロック塀が倒壊しました。それにより避難する経路が遮断されたり、救助が遅れたりと多くの問題が発生します。

更には人的被害や近隣へ物的被害を及ぼすこともあります。最悪は人が死亡するケースも発生しています。

ブロック塀の耐震については家屋の耐震の問題とは異なり、「他者へ被害を与えない」という地域に生きる一員としての思いやりではないでしょうか。



（urlの先はpdfです）



（チラシ）今すぐブロック塀等の点検を！の要旨

目視でチェックできる項目

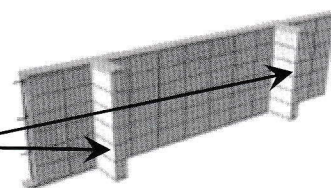
塀の高さ	2m～2.2m	1.2m～2m	1.2m以下
塀の厚さ	15cm以上	10cm以上	
控え壁間隔	長さ3.4mごとに設置		設置不要
控え壁長さ	高さの1/5以上		
その他	コンクリート基礎が必要		
	塀に傾きやひび割れがないこと		

目視では確認できない項目（専門家に相談しましょう）

ブロック塀の内部の鉄筋が十分か

基礎の寸法が十分か

控え壁とは



自宅ブロック塀が倒れて通行人が怪我をした場合

震度7クラスの大地震であれば壊れてもやむを得ないとなるかもしれませんが、それより小さな震度で通常有すべき安全性を確保できていないブロックが倒れた場合は工作物責任を問われる可能性があるようです。

今年度（2021年度）の防災セミナーについて

受講者数が期待より大幅に少ないと思われ、
たいへん残念に思います

郷地東町連合自治会では東京都と共催で防災セミナーを全ての会員を対象にして毎年開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルスが懸念されることから自宅からリモートで誰でも参加できる形式のセミナーとしました（期間は2021年11月～12月）。

例年は自治会集会所に集まっていた防災セミナーを受講していただきましたが、受講人数は30～40人程度で当連合自治会の世帯数（約1,600世帯）のごく一部の方だけが参加されている状態でした。

今年度はスマホかPCがあればだれでも都合の良い時間に受講できるので多くの方に視聴していただきたかったのですが、受講後のアンケートに回答していただいた方は約20人。受講したけどアンケートに回答しない人もいられるので受講者数はその倍としても約40人と、これまでと同程度の人数でした。たいへん残念です。

セミナーはどのような内容だったのか？

・地震発生時は「自助」「共助」「公助」の三位一体体制が大切と言われています。今回は「自助」に焦点を当てて一人ひとりが各家庭で実施すべき事前の備えを理解し、実践していただきます。

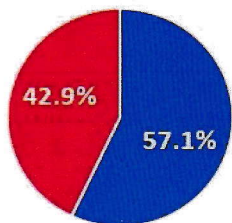
・地震の備えの考え方

1)地震による直接的な危険を防ぐ

2)災害関連死など二次的な危険を防ぐ

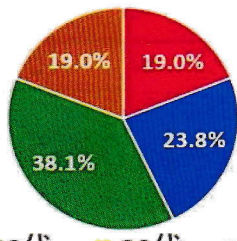
アンケートに回答いただいた方はどんな人たち？

性別



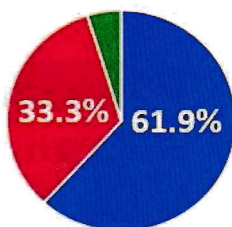
■ 男 ■ 女

年代



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代

役員等



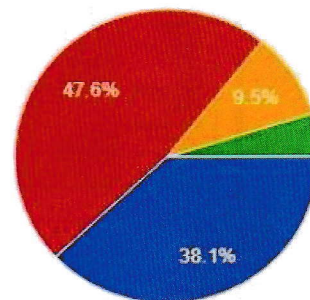
■ 役員等 ■ 一般 ■ 防災推進委員

受講者の感想

受講者から寄せられた感想の一部を紹介します。次のセミナーではぜひ多くの皆さんが受講されるよう期待しています。

【1】動画配信によるセミナーはいかがでしたか？

21 件の回答



● 満足
● 概ね満足
● 普通
● やや不満
● 不満

【満足】

- ・昭島市の情報も入っていて身近に感じました。コロナ後の状況に合わせた解説など役立った。
- ・居住地域の危険度が示されて大変参考になりました。
- ・わかりやすい。紙で見るだけでは関心も少ないが、映像になっていると興味もわくし聞く気になる。

【概ね満足】

- ・一般教養としての防災セミナーというのではなく、個人として具体的に何をすべきか（自助）が分かりやすく説明されていたと思います。
- ・自助の大切さが良く分かった、
- ・自宅で受講できる。

【普通】

- ・注意されることが多すぎた。どこから手を付けるか。

我が家に合った備蓄のすすめ「東京備蓄ナビ」

東京備蓄ナビを紹介します。

どんな物資をどのくらい備蓄しておくかを各家庭の構成員の実態に合わせて示してくれます。

世帯の人数と性別・年代を入力すると、その世帯に合った備蓄を提示してくれます。

下記の表はその一部です。



水：33 L	レトルトご飯：26 食	レトルト食品：9 個
缶詰(さばの味噌煮、野菜など)：9 缶	栄養補助食品：9 箱	野菜ジュース：9 本
チーズ・プロテインバー等：3 パック	健康飲料粉末：9 袋	調味料セット：適宜
乾麺 即席麺：3 パック	無洗米：4 kg	飲み物：9 本
お菓子：3 パック	果物の缶詰：3 缶	除菌ウェットティッシュ：120 枚
アルコールスプレー：2 本	マスク：9 枚	口内洗浄液：810 ml
救急箱：1 箱	常備薬：1 箱	カセットコンロ：2 台